

# 生涯学習部 中央図書館 (1事業)

事務事業名	ページ
図書館管理運営事業	214

# 平成 24 年度 事務事業シート ( 評価 )

## 1 事務事業に関する基本情報

事務事業番号 105 - 12 新規・継続 継続

所 属	生涯学習部 中央図書館 庶務係		
まちづくり大綱	第1節 個の力が発揮でき、人の力で発展していくまち 一人づくりー		
まちづくり目標	③ 自らの興味・関心に応じていつまでも学び、活躍できるまち		
施 策	1-5 市民が主体となった学習活動の充実		
事務事業名	図書館管理運営事業		
予算科目	一般会計	10 款	5 項 3 目 3 細目
根拠法令	図書館法、東広島市立図書館設置及び管理条例		
		ハード・ソフト別	ソフト

## 2 コスト情報

		22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)	
コスト	事業費	事業費合計 (A)	159,435 千円	190,525 千円	247,345 千円	248,455 千円			
		財源内訳							
		国県支出金	3,240 千円	27,805 千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円			
		その他	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	156,195 千円	162,720 千円	247,345 千円	248,455 千円				
人件費	人件費	人件費合計 (B)	- 人	55.56 人	52.10 人	- 人			
		正規職員	- 人	17.40 人	17.45 人	- 人			
		嘱託職員	- 人	16.17 人	14.65 人	- 人			
		臨時職員	- 人	21.99 人	20.00 人	- 人			
		総事業費 (A)+(B)	159,435 千円	317,160 千円	371,758 千円	248,455 千円			
人件費/総事業費	- %	39.93 %	33.47 %	- %					
事業費の主な内訳 (平成24年度決算)	【報酬】図書館事務職員、図書館運転手、図書館日々事務職員 26,711,166 円 【賃金】一般事務職20人 34,379,069 円 【工事請負費】中央図書館大規模改修工事(一期) 84,428,400 円 【備品購入費】図書24,057冊 39,699,963 円								

## 3 事務事業の概要

目的 (何のために)	生涯学習社会を迎え、学習の拠点として、市民の必要とする知識や情報を資料提供し、自らの興味や関心に応じて主体的に学ぶことを支える。また、新しい時代の図書館が利用者の期待に応え、より良いサービスを行うため、施設の維持管理に努める。												
対 象 (誰・何を対象に)	市内に居住、もしくは通勤、通学している者												
事業内容 (手段、手法など)	<p><b>1 蔵書の充実</b> 読書、調査研究等の市民のニーズに応えるため、蔵書のさらなる充実を図る。</p> <p><b>2 移動図書館</b> 中央図書館及び黒瀬図書館から市内の各地を移動図書館車で巡回し、広く市民にいつでも、どこでも、だれでも気軽に利用できるサービスを実施している。</p> <p><b>3 読書活動の支援</b> 移動図書館車で市内の全小学校を巡回し、学校の読書活動の支援を行っている。</p> <p><b>4 行事</b> 各図書館ではおはなし会等の行事の開催、企画展示等を行い、図書館に親しむ機会を創出する。</p> <p><b>5 祝日開館の取組み(中央図書館のみ)</b> 中央図書館で、祝日開館(1月1日を除く。)を試行実施した。</p> <p><b>6 図書館資料の予約</b> 各図書館の窓口及び館内蔵書検索機で予約を受け付けている。また、インターネットの蔵書検索サービスを提供し、利用者のパソコンや携帯電話からの予約受付を常時行っている。</p> <p><b>7 中央図書館大規模改修工事(一期)</b> 中央図書館で、主に2階部分の空調機器等の設備改修工事、漏水改修工事を実施した。</p>												
実施方法	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">方法</th> <th>主な事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 市直営</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 業務委託</td> <td>館管理業務、図書資料等配送業務、図書館システム保守業務、移動図書館車運転業務等</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 指定管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 貸 付</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方法	主な事業内容	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	館管理業務、図書資料等配送業務、図書館システム保守業務、移動図書館車運転業務等	<input type="checkbox"/> 指定管理		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 貸 付	
方法	主な事業内容												
<input checked="" type="checkbox"/> 市直営													
<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	館管理業務、図書資料等配送業務、図書館システム保守業務、移動図書館車運転業務等												
<input type="checkbox"/> 指定管理													
<input type="checkbox"/> 補助金													
<input type="checkbox"/> 貸 付													

#### 4 取組・実績

<b>活動内容</b> <small>(翌年度繰越額がある場合は、その理由)</small>	(1) 移動図書館車の巡回 市内小学校 35 校、特別支援学校 2 校、幼稚園 2 園、一般ステーション 26 か所を年 10～11 回巡回した。移動図書館車での年間総貸出冊点数は 169,376 冊・点。 (2) 祝日開館の取組み(中央図書館のみ) 1 月 1 日と振替休日を除く 14 日間を開館し、14,599 人の来館者と、33,052 冊・点の貸出を行った。 1 祝日あたりの平均来館者数は 1,042 人、平均貸出冊点数は 2,360 冊・点。								
	<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>22年度</b>	<b>23年度</b>	<b>24年度</b>			
	蔵書冊数	冊	563,357	583,376	603,578				
	月例行事数(おはなし会等)	件	25	24	20				
	月例以外の行事数(おはなしフェスタ等)	件	38	39	35				
<b>単位当たりコスト</b> <small>(総事業費/活動指標)</small>	総事業費/蔵書冊数	円	283	544	616				
<b>成果目標</b> <small>(指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)</small>	利用状況を把握し、より一層の利用増を図るため、市民一人当たりの個人貸出冊点数及び予約点数を成果指標に設定している。								
<b>成果指標</b> <small>(目標達成状況等)</small>	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>22年度 (実績値)</b>	<b>23年度 (実績値)</b>	<b>24年度</b> (目標値) (実績値) 達成率		<b>25年度 (目標値)</b>	<b>26年度 (目標値)</b>	
	市民一人当たりの個人貸出冊点数(年間)	冊・点	7.22	7.38	7.44	6.93	93.1%	8.54	8.93
	市民一人当たりの予約点数(年間)	点	0.55	0.63	0.73	0.69	94.5%	—	—

#### 5 事務事業の評価

視点	評価項目	項目の説明	評価			
<b>必要性</b>	市の関与の妥当性	市が実施する理由、事務事業の目的、対象者の範囲等の妥当性はどうか	B	対象範囲の見直し等、検討の余地がある。		
	市民ニーズの傾向	市民ニーズ(サービス需要)は増えているか	B	増加傾向にある。		
<b>有効性</b>	類似事業の有無	他部局や国、県、民間企業等で同様な事務事業が存在するのか	A	類似した事務事業は存在しない。		
	単位当たりコストの妥当性	近隣自治体や類似団体と比較し、単位当たりコストは妥当か	B	概ね妥当である。		
<b>効率性</b>	コスト削減の余地	実施手段の適正化、電子化、人員の見直し等により、コスト削減の余地はないか	B	一部、削減の余地がある。		
	負担割合の適正度	コスト全体に占める自治体の負担(補助)割合は適正か	A	概ね適正な負担割合である。		
	民間活力の活用	民間委託、指定管理者の導入等、より良い代替策は検討できないか	B	一部、民間活力を活用済		
<b>施策への貢献度</b>	施策推進において影響度、重要度、貢献度が高い事業か	B	一定の影響度、貢献度がある。			
<b>総合評価</b>	費用対効果(B/C)の観点から、右下の表のA～Lまでの1項目を選択(未実施の場合はMを選択)	F	前年度よりコストを増額し、概ね目標達成した。			
<b>各評価の選択理由</b>	国、県にも図書館はあるが、市立図書館とは役割を異にしており、類似事業はないと評価している。利用も増加傾向にあり、生涯学習の拠点施設としての中心的役割を担っていることから、今後も継続して施策を推進していく必要がある。	<b>成果の達成度</b>	100%以上	A	B	C
			90～99%	D	E	F
			50～89%	G	H	I
			50%未満	J	K	L
<b>総合評価</b>		削減	同じ	増額	<b>コスト投入状況</b>	
<b>課題および今後の方向性</b>	概ね計画どおりに事業を進めており、引き続き、本事業を推進することとする。 市民ニーズに応え、更なる利用拡大を図るため、祝日開館を試みた結果、利用者の増加は認められたが、サンプル数(祝日数)が少ないため、効果の評価は難しかった。そのため、平成25年度も継続して祝日開館の試行に取り組むこととする。 図書館は、地域の情報拠点として、市民のニーズに的確に応えるとともに、必要な知識や情報をより適切に入手できる環境を整えていくことが重要で、中でも、開館日や開館時間の拡大と、レファレンス(参考調査)サービスの充実については、優先して取り組んでいかなければならない課題である。 今後、平成25年度に「東広島市図書館サービス計画」を策定し、平成26年度以降、策定した計画に基づき、図書館サービスの充実を図るため、職員自らが努力するとともに、指定管理を含めた民間活力の活用について、調査検討を行う。					